

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 97 号	氏名	三 浦 成 陽
学位審査委員	主 査 新 川 詔 夫 副 査 金 武 洋 副 査 関 根 一 郎		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、子宮筋腫を合併した不妊や流産の原因の一つを解明するため、粘膜下筋腫、筋層内筋腫、漿膜下筋腫患者の筋腫・筋層・内膜組織におけるマクロファージ数および MCP-1 と PGF2α濃度を測定し、炎症との関係を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 粘膜下筋腫、筋層内筋腫、漿膜下筋腫患者、および正常対照者の計 87 例からの組織標本上での免疫染色法、さらに均質化組織における ELISA 法を用いて解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、筋腫結節および子宮内膜組織中でのマクロファージ貪食能の活性化やプロスタグランジン産生亢進に伴う子宮収縮が、不妊・流産の機序となっている可能性を明らかにし、この知見の臨床への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は生殖機能および産科領域研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			